

「研究業績書」記載上の留意事項

この業績書は、「著書、学術論文」、「学会発表・講演等」、「月刊誌・書評・報告集・コラム等」、「演奏・作品・出場競技等」及び「競争的外部資金」についての業績を記入するものである。

「著書、学術論文」等（別記様式第4号の1）

1. 発行済み又は掲載が予定されているすべての著書・学術論文等について作成すること。掲載予定のものについては、受理済みであることを備考欄に明記すること。
2. 昇任に係る書類作成の際は、現職採用等の際に提出した著書・学術論文等については、備考欄にその旨表示すること。
3. 国際的又は全国的な学会・機関等（これらに相当する学会・機関等を含む。）が刊行するレフリー制度の整った学術雑誌、学会誌等に掲載された論文については、備考欄に「レフリー論文」と記入すること。
4. 「著者名又は執筆者名」欄には、共著の場合は、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書等に記載された順に記入すること。なお、共著の場合で、本人が第1著者以外であっても、特に重要な役割を果たした場合は、備考欄にその旨表示記載すること。
5. 「著書、学術論文等の名称」の欄には、【著書】、【学術論文】、【学会発表・講演等】及び【その他（月刊誌・書評・報告集・コラム等）】の順に、それぞれ年月順に記入し、通し番号を付すこと。
6. 「頁数」の欄には、著書のうち単著は総頁数を、共著は総頁数と併せて本人執筆部分の頁数を記入する。学術論文の場合は〇〇頁～〇〇頁と記入すること。
7. 【学会発表・講演等】は、最近5年間の業績を記入すること。
8. 【その他（月刊誌・書評・報告集・コラム等）】は、最近5年間の業績を記入すること。
9. 主要学術論文等の概要を添付すること。
10. 著書とは、学術図書、翻訳書、指導書、学習指導資料及び教科用図書等をいう。
11. 学術論文とは、学会・機関等の刊行する学術雑誌、学会誌、紀要等に掲載されたものをいい、その内容は、所属学会等の水準を保つものとする。ただし、教職経験を10年以上有する者の業績にあっては、全国的教育誌に掲載された論文及び実践記録を学術論文とすることができる。

「演奏・作品・出場競技等」（別記様式第4号の2）

実技系芸術分野及び体育分野で以下の業績がある者は、提出すること。

1. 記載方法は、上記1～6を参照すること。
2. 演奏とは、国際的又は全国的なレベルのコンクール等への出場等
3. 作品とは、国際的又は全国的なレベルの展覧会における入選・受賞作品等
4. 出場競技とは、国際的又は全国的な公認競技会への出場・入賞
5. 実技系芸術分野にあっては、2. 3. の催しの審査員やその企画等の実績を、体育分野にあっては、4. の競技会での審判・指導等の実績を研究業績とすることができる。

「競争的外部資金」（別記様式第4号の3）

1. 最近5年間の申請状況を記載し、採択されたものについては、備考欄にその旨明記すること。
2. 最近5年間に申請実績が無い場合は、「無し」と記載し提出すること。